



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年8月9日
東

上場会社名 北日本紡績株式会社 上場取引所
 コード番号 3409 URL http://www.ktbo.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)仲治 文雄
 問合せ先責任者 (役職名)取締役総務部長 (氏名)西川 康一 (TEL)076(277)7530
 四半期報告書提出予定日 2019年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の業績 (2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	126	13.9	△5	—	0	△94.6	0	△84.1
2019年3月期第1四半期	111	△3.1	△1	—	2	△68.7	3	△51.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	0.43	—
2019年3月期第1四半期	2.72	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,332	537	40.3
2019年3月期	1,353	558	41.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 537百万円 2019年3月期 558百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	290	34.5	△5	36.2	△1	—	△1	—	△0.81
通期	670	47.5	5	—	10	—	10	—	8.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	1,291,100株	2019年3月期	1,291,100株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	56,130株	2019年3月期	56,130株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	1,234,970株	2019年3月期1Q	1,234,980株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予測に関する事項は、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、堅調な個人消費を背景に、緩やかに回復していると言われておりますが、ここに来てアメリカを中心とした国際情勢が目まぐるしく変化し、様々な問題が発生しており不透明な状況が続いております。特に米中貿易摩擦に関しては一息ついた感はありますが、今後どのようになるか分からず、問題が先延ばしになっている状況であり、じわじわと日本国内の様々な分野に影響を及ぼしてきております。また、本年10月に施行される消費税率アップが国内消費に大きな影響を与える可能性があり、今後は厳しい環境に陥ると想像されております。

繊維景況においては、衣料分野では百貨店、スーパーの販売不振が常態化しており、また、来年度のオリンピック関連の受注も想定よりも伸びておらず、全般に低調に推移しております。一方、資材関連商品に関しては低位ながら安定した受注があり、底堅く推移しております。

このような状況の中、当社の第1四半期累計期間の業績は、売上高126,759千円（前年同期比13.9%増）、営業損失5,876千円（前年同四半期は1,932千円の営業損失）、経常利益161千円（前年同四半期比94.6%減）、四半期純利益531千円（前年同四半期比84.1%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第1四半期累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

(紡績事業)

当社の主力であるアラミド繊維は、産業資材分野を中心に受注は堅調に推移しており売上高は68,862千円（前年同期比3.3%減）とほぼ横ばいで推移いたしました。高機能インナー向け紡績糸の売上高は21,113千円（前年同期比43.1%増）となり前事業年度からの好調な受注を維持しております。ポリエステル関係は原綿着色糸がテント用、ユニフォーム用で堅調に推移しておりますが、全体的に受注は減少傾向となっており、売上高は20,461千円（前年同期比18.7%減）となりました。コスト面では、段ボールなどの資材コストや機械部品のメンテナンス費用の増加、受注数量の細分化による多品種小ロット化がますます進んだことにより、合理的な生産が出来ず厳しい状況が続きました。生産体制については、多品種小ロット生産への対応や更なる生産性の向上を検討し、合理的な生産体制の構築に取り組んでまいります。

この結果、紡績事業の当第1四半期の業績は、売上高110,437千円（前年同期比0.6%減）、営業利益15,803千円（前年同期比9.1%減）となりました。

(テキスタイル事業)

前事業年度後半より取り組んでおります中東向け生地販売の現地の市況は、近隣諸国との諸問題、サウジアラビアの国内政治的变化などの影響を受け、販売自体が低調に推移しておりました。しかし、今年になって在庫もある程度減少し、少しずつ購買意欲が出てきております。当社といたしましては、本格的な販売は初年度になりますが、少しずつ成約はできてきており、当事業年度後半から実績を上げることができると考えております。

この結果、テキスタイル事業の当第1四半期の業績は、売上高16,294千円、営業損失2,429千円となりました。

なお、各セグメントに配分していないセグメント損益の調整額は、全社費用の18,724千円であり、主に各セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は132,066千円となり、前事業年度末に比べ3,747千円の増加となりました。これは主に、テキスタイル事業の商品仕入れや手付金の支払いが増加したため、商品及び製品が6,496千円、前渡金が5,075千円増加した一方で、現金及び預金が13,672千円減少したことによるものであります。固定資産は1,200,004千円となり、前事業年度末に比べ24,760千円の減少となりました。これは主に、紡績工場の建物に関する設備投資により有形固定資産は6,254千円増加しましたが、保有株式の時価が下落したことにより投資その他の資産の投資有価証券が30,879千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は1,332,070千円となり前事業年度末に比べ21,012千円の減少となりました。

(負債)

流動負債は527,077千円となり、前事業年度末に比べ9,719千円の増加となりました。これは主に、短期借入金が15,500千円増加した一方で、賞与引当金が4,252千円、未払金が2,139千円それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は267,764千円となり、前事業年度末に比べ9,553千円の減少となりました。これは主に、繰延税金負債が9,778千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は794,841千円となり、前事業年度末に比べ166千円の増加となりました。

(純資産)

株主資本は15,545千円となり、前事業年度末に比べ531千円の増加となりました。これは、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。評価・換算差額等は521,682千円となり、前事業年度末に比べ21,710千円の減少となりました。これは、その他有価証券評価差額金の減少によるものであります。

この結果、純資産合計は537,228千円となり、前事業年度末に比べ21,178千円の減少となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想については、2019年5月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	50,431	36,759
売掛金	50,190	50,388
商品及び製品	15,888	22,384
仕掛品	5,586	4,795
原材料及び貯蔵品	2,801	5,697
その他	3,419	12,041
流動資産合計	128,318	132,066
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,976	9,749
機械及び装置(純額)	32,705	33,095
工具、器具及び備品(純額)	2,358	2,207
土地	795,477	795,477
その他(純額)	8,096	8,337
有形固定資産合計	842,613	848,867
無形固定資産		
ソフトウェア	2,021	1,887
その他	0	0
無形固定資産合計	2,021	1,887
投資その他の資産		
投資有価証券	369,638	338,759
敷金及び保証金	10,490	10,490
投資その他の資産合計	380,128	349,249
固定資産合計	1,224,764	1,200,004
資産合計	1,353,082	1,332,070

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,017	10,909
設備関係支払手形	1,415	844
短期借入金	456,500	472,000
未払費用	7,856	7,367
未払金	22,127	19,987
未払消費税等	4,711	5,032
未払法人税等	2,808	1,561
賞与引当金	7,508	3,255
その他	6,415	6,118
流動負債合計	517,358	527,077
固定負債		
リース債務	7,238	6,975
繰延税金負債	61,067	51,289
退職給付引当金	9,510	9,997
再評価に係る繰延税金負債	199,501	199,501
固定負債合計	277,317	267,764
負債合計	794,675	794,841
純資産の部		
株主資本		
資本金	714,000	714,000
資本剰余金	1,257	1,257
利益剰余金	△647,738	△647,206
自己株式	△52,504	△52,504
株主資本合計	15,014	15,545
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	96,755	75,045
土地再評価差額金	446,636	446,636
評価・換算差額等合計	543,392	521,682
純資産合計	558,406	537,228
負債純資産合計	1,353,082	1,332,070

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	111,223	126,759
売上原価	84,863	104,642
売上総利益	26,360	22,117
販売費及び一般管理費	28,293	27,994
営業損失(△)	△1,932	△5,876
営業外収益		
受取配当金	5,697	6,031
不動産賃貸料	1,910	2,454
その他	119	171
営業外収益合計	7,726	8,657
営業外費用		
支払利息	2,409	2,397
その他	386	221
営業外費用合計	2,795	2,619
経常利益	2,998	161
税引前四半期純利益	2,998	161
法人税、住民税及び事業税	242	239
法人税等調整額	△606	△609
法人税等合計	△364	△370
四半期純利益	3,362	531

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。